

140年以上の歴史を誇る元町商店街の魅力

紹介者 米田 進一

元町商店街の歴史はととても古く、明治7年（1874年）に「元町通」と改称され、東西に1.2kmにも及ぶアーケード商店街として今も尚、多くの人々に親しまれています。ジャンルは様々で飲食店や美術品店、装飾店、靴やバッグのお店など、戦後に復興した昔ながらの店舗が多く、外国人居留地が整備されハイカラな情景が港町らしく残っています。神戸大丸前の東玄関口にはステンドグラスで覆われた幻想的な輝きが見られます。食店は和洋中が中心で神戸ビーフが食べられる店や、元町ケーキなど地元の名物も購入できます。昨年に神戸開港150年を記念し「みなと港」をテーマに明治から平成までその歴史を振り返る『アーカイブ写真展』を催し、毎月第3水曜日に兵庫県産の食材を販売、“夜市”といった年間通じて様々なイベントも行っているそうです。洋風なデザインや、古風な情緒溢れる歴史的な建物も元町ならではの特徴ともいえます。トイレは4丁目の「こうべまちづくり会館」内に設置されていますが、大きな車椅子では入れないと思います。移動しながら文化も学べ、楽しい時間を過ごせますよ。

名称	元町商店街（1番街、3丁目～6丁目）
TEL	TEL/FAX (078) 391-0831
住所	〒650-0022 神戸市中央区元町通3丁目13-1
アクセス	JR 元町駅西口から徒歩5分
営業時間	店舗により異なる
定休日	神戸元町商店街連合会に準ずる



JR 元町駅からのルートマップ



商店街アーケード



神戸風月堂ミュージアム



こうべまちづくり会館